



扱い：配布後解禁  
令和6年3月12日  
記者発表

## インフラDX推進の拠点が誕生！ ～「北陸インフラDX人材育成センター」を開所します～

北陸地方整備局では、インフラ分野におけるデータやデジタル技術を積極的に導入・活用することにより、所掌する行政手続きの利便性の向上、災害対応の迅速化・高度化、安全で快適な労働環境の実現による働き方改革を目指しております。このため、これらインフラDXの推進を担う人材育成、及び建設業の新たな働き方の情報発信拠点として、令和6年3月27日 北陸技術事務所に「北陸インフラDX人材育成センター」を開所します。

### 1. 開所式概要

- (1) 日 時 令和6年3月27日(水) 10:00 ~ 12:00  
(2) 会 場 北陸技術事務所  
(新潟市西区山田 2310-5 別紙-1, 別紙-2 参照)  
(3) 出席者 北陸地方整備局長、北陸技術事務所長 ほか

### 2. 開所式次第

- (1) 開所式 10:00~10:20  
(2) 施設紹介 10:20~10:30  
(3) 報道機関向け体験会 10:30~12:00

### 3. 取材のお申込みについて

取材は「事前申込制」とさせていただきます。取材をご希望の方は「別添 取材申込書」に必要事項をご記入の上、3月21日(木)17:00までに FAX またはメールにてお申し込み下さい。

開所式は北陸技術事務所1F会議室にて開催致します。その後、技術情報棟に移動し、報道機関向けの施設紹介・体験会を実施致します。

○北陸インフラDX推進ホームページ  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/dx/>

#### 【同時発表記者クラブ】

(新潟県) 新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
(富山県) 富山県政記者クラブ  
(石川県) 石川県政記者クラブ  
その他・専門紙

#### 【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 企画部  
建設情報・施工高度化技術調整官 小幡 淳 (内線3132)  
施工企画課長補佐 松村 潤 (内線3453)  
電話 025-280-8880 (代表)

北陸技術事務所 内 北陸インフラDX人材育成センター  
【新潟県新潟市西区山田2310-5】





- 北陸のインフラDXの推進を担う**人材育成**、及び建設業の新たな働き方の**情報発信拠点**として、令和6年3月27日北陸技術事務所に「北陸インフラDX人材育成センター」を開所
- 人材育成センターでは、整備局職員の外、「**民間技術者**」、「**自治体職員**」、「**学生**」を対象とした講習会を実施

DXルーム体験メニュー	内 容
VR体験	・BIM/CIM成果(3次元モデル)によるVR体験
遠隔臨場体験	・ウェアブルカメラによる遠隔臨場体験
3次元測量体験	・タブレットを使用した3次元測量体験
シミュレータ体験	・バックホウ、除雪トラック、UAVのシミュレータ体験



## 「北陸インフラDX人材育成センター開所式」取材申込書

北陸インフラDX人材育成センター開所式 事務局 行  
(国土交通省 北陸地方整備局 企画部 施工企画課)  
FAX:025-280-8809  
メール: jyouhouka@hrr.mlit.go.jp

会場が手狭なため、取材を希望される場合は、この様式に必要事項を記入の上、下記申込先までFAXまたはメールで事前にお申し込み願います。

申込先(FAX) 025-280-8809

申込先(メール) jyouhouka@hrr.mlit.go.jp

※申込締切 3月21日(木) 17時00分まで

1. 会社名 \_\_\_\_\_
2. ご氏名(代表者) \_\_\_\_\_
3. 連絡先(TEL) \_\_\_\_\_
4. 人数(代表者含む) \_\_\_\_\_人
5. ご希望の体験施設について人数をご記入下さい。

※体験希望者多数の場合、人数制限させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| ① 除雪トラックシミュレータ               | _____人 |
| ② UAVシミュレータ                  | _____人 |
| ③ VR体験                       | _____人 |
| ④ バックホウシミュレータ                | _____人 |
| ⑤ 3次元測量体験                    | _____人 |
| ⑥ DXデータセンターによるBIM/CIM活用の実演見学 | _____人 |
| ⑦ 遠隔操作対応型バックホウ実演見学           | _____人 |

以上